

講義コード	11C0118600	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	藤岡 明房	開講期	第1期
科目名	環境経済学Ⅰ					藤岡 明房		第1期	
履修前提条件						備考			
授業の目的	環境経済問題を経済学的に分析するための見方を紹介する。これにより、環境問題を体系的に把握することができるようになる。例えば、公害問題は、工場から排出される有害物質を市場を通じないで配分された現象とみなすことによって外部不経済効果として分析できることになる。								
到達目標	環境問題とは何かについての知識を持ち、環境問題を経済学的視点で分析することができるようになる。主要な経済問題の具体的な内容を知り、それについての実際の対策についても知ることができる。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	環境問題は分野が広いので、広く関心を持つようにする。例えば、COP21やパリ条約のように国際的に話題になっている環境問題については特に注意してもらいたい。(計60時間)								
授業計画	【第1回】はじめに(環境経済学, 生態学) 【第2回】環境経済理論1(外部不経済、コースの定理) 【第3回】環境経済理論2(共有財、マイナスの価値、リスク分析) 【第4回】公害問題1(4大公害問題) 【第5回】公害問題2(新しい公害) 【第6回】公害問題3(大気汚染、土壌汚染) 【第7回】公害問題4(海外の公害) 【第8回】公害対策1(公害対策基本法) 【第9回】公害対策2(大気汚染対策) 【第10回】公害対策3(発生源対策) 【第11回】廃棄物問題1(定義、一般、産業廃棄物) 【第12回】廃棄物問題2(現状) 【第13回】廃棄物対策1(環境基本法循環型社会) 【第14回】廃棄物対策2(処分) 【第15回】第1期まとめ								
成績評価の方法	第1期の最後に試験を行い、評価する。また、平常点も参考にする。								
フィードバックの内容	大学のポータルサイトのストレージに藤岡明房のフォルダを掲載し、その中に環境経済学Ⅰのフォルダを設置し、そこに必要な情報を掲載するので必ず見るように。								
教科書									
指定図書									
参考書	『環境経済入門』三橋 規宏(日経文庫)2013.3、『入門 環境経済学』日引 聡、他(中公新書)2002.7、『環境経済学』細田 衛士(有斐閣アルマ)2007.3、『環境白書』環境省(環境省)2016.6、『グラフィック環境経済学』浅子 和美(新世社)2015.3								
教員からのお知らせ	講義はパワーポイントを利用する。パワーポイントの内容は、教育支援のストレージの中で開示する。また、環境経済学Ⅱも履修すること。								
オフィスアワー その他	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受付けます。								